

一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をたやすものです。

自由民主党
鈴鹿市議員

森 喜代造 議員

マイナ保険証について

（質問）市民への周知の取り組みについて伺う。

（答弁）国民健康保険および後期高齢者医療制度ともに、広報すずかに周知記事を掲載した他、8月の保険証一斉更新時に、加入世帯に対し周知チラシを同封した。また、市内の医療機関などに対して、経過措置による本市国民健康保険証の有効期限や、資格確認書および資格情報のお知らせの様式などについて周知した。今後必要に応じて周知に取り組む予定である。

その他の質問 ○地元就職への取り組み



諸派（公明党）

藤浪 清司 議員

こども条例(仮称)について

（質問）「児童の権利に関する条約」に明記されている4つの原則を尊重し、特に、意見表明の権利、意見の尊重、施策への反映を重視している「こども基本法」に沿った条例とすべきであるが、いかがか。

（答弁）条例には、子どもたちの健やかな育ちの確保に向け、子どもの権利擁護や子育て支援の内容を盛り込み、「児童の権利に関する条約」における4つの原則や、子どもの意見についても示していく。

その他の質問 ○公共施設の維持管理
○日常生活用具給付



自由民主党
鈴鹿市議員

森 雅之 議員

学校プール 水泳授業について

（質問）水泳授業の民間委託について、今後の方針は。

（答弁）学校外プール施設における水泳授業は、児童の安全安心な水泳授業の実施や確かな水泳技能の習得など、さまざまな利点が検証されている。学校外プール施設を利用した水泳授業の費用対効果を踏まえるとともに、財政状況を勘案しながら、学校外プール施設を利用した水泳授業が実施できるよう、慎重に協議を進めていく。

その他の質問 ○公立保育所 ○学校給食



市民の声

中西 大輔 議員

若者政策について

（質問）居場所や参画、相談といった若者政策の所管部署に関する鈴鹿市の考えは。市町村こども計画の策定に際し、18歳から39歳くらいの年代で無作為抽出による検討会議を行ってはどうか。

（答弁）若者の育成・支援に係る政策の総合的な推進は、子ども政策部が所管と考えている。若者の主体的な参加の観点から、市町村こども計画策定における若者からの意見聴取の必要性は認識しており、その手法などに関して、幅広く検討していく。

その他の質問 ○市立体育館電灯使用料



新緑風会

河尻 浩一 議員

途切れのない支援と連携について

（質問）①妊娠・出産・乳幼児期の支援②療育センターの利用状況と支援③5歳児健診の状況と支援、課題について伺う。

（答弁）①こども家庭センターを設置し、相談、健診、保健指導などを実施している。②利用者は減少傾向。専門性を生かし、児童と保護者の支援、その質の向上などに取り組んでいる。③5歳児健診後には、巡回訪問や個別の支援計画作成などさまざまな支援を行っている。医療機関や教育委員会などとの連携強化、専門人材確保が課題で、支援体制として部分的業務委託も視野に検討する。



市民の声

藤井 栄治 議員

救急搬送について

（質問）本年度、東海地方で一番早く取り組んだ鈴鹿市のマイナ救急実証事業について、また、その効果について問う。

（答弁）マイナ救急は、救急車でマイナ保険証から本人の医療情報を閲覧し搬送に役立てるものである。実証事業期間中の搬送者は1,823人、このうち本人同意を得て医療情報を閲覧できた方は329人で約18%であった。マイナ保険証を活用した方が、病院選定所要時間が約1分短縮でき有効であった。

その他の質問 ○商店街等における街路灯

